

まちの話題

余韻さわやか“高齢者の国体”

—— 挑むこと・興じること、誰かに役立つことの幸せ

俳句、健康マージャン、ゲートボール、軟式野球など32種目を競い楽しむ
ねんりんピック(全国健康福祉祭)が昨秋、県内26市町で行われました。
(主催：厚労省他、対象：60歳以上の都道府県代表等)

町内からは、14名の選手がペタンクなど7種目に出場し、大健闘しました。
他方、愛川町での開催種目は将棋です。大規模な大会でしたが、町内の
老人会、将棋愛好会などからの、数多くの高齢ボランティアが支えました。

—— ふれあいと活力ある長寿社会づくりを

47年かけて全国を一巡する祭典は既に次の県にバトンリレーされましたが、大会テーマ**《高齢者の健康の保持・増進、
社会参加、生きがいの高揚》**は、これを機により充実することが期待されます。

【まちの話題を募集しています】 人と町をほっこりさせる情報をお寄せください。



将棋対局が同時に約百組行われた
第1号公園体育館（11月13・14日）

サポセン クイズ

① NPO法人とコンビニ、どちらの数が多いでしょうか？

1 NPO法人の方が多い。 2 コンビニの方が多い。

② NPOとNPO法人の違いは何？

1 「認証」を得ているものだけが法人をかたれる。 2 違いはない。

③ NPO法人は、「事業は無料、労働は無給」。これは正しいか？

1 正しい。 2 必要な事業経費や従業員の給料、役員（理事）報酬は認められている。

①の正解＝2（全国：NPO法人＝約5万、コンビニ＝約5万8千、町内：NPO法人＝13、コンビニ＝20）
②の正解＝1（認証を得るためには、経理や運営など厳しい審査があります。認証後も毎年報告義務があります。）
③の正解＝2（有料事業も報酬払いもOKです。会社との違いは、営利を目的としない＝利益を株主等に分配しない点。）



「イラスト提供」
丸茂奈歩さん

あとがき

助け合いの気持ちは誰もがもっているはずですが、思うように動けないことがあります
ませんか。「親切は筋肉と同じで、使うほど簡単にできる」ようです。社会貢献団体で
のボランティア体験は「親切筋トレ」に最適です。多くの団体が歓迎しています④

《あいかわ町民活動サポートセンター》

〒243-0392 愛川町角田251番地1
(役場裏の分館＝文化会館との間)

TEL：046-205-1323

FAX：046-205-1324

Eメール：ai-saposen@bz01.plala.or.jp

サポセンHP



【開所時間】 9:30から17:00まで

但し、木曜（祝日を除く）は19:00まで

【休所日】 毎週水曜、年末年始、施設点検日
(水曜日以外の祝日は開所)

【利用予約】 打ち合わせや機器を利用する
ときは、事前に電話予約をして下さい。

※ 掲示物等を見るだけの入室は予約不要。

さぽせん あいかわ



【発行】 あいかわ町民活動サポートセンター（年2回）

【編集】 広報紙編集委員会

春 春 春 リスタート サポセンで (再始動)

団体のみなさんには

活動の発展を支援します

- ① 各団体の情報発信の手伝い
- ② 活性化に役立つ支援事業の実施
- ③ 団体運営に役立つ情報の提供
- ④ 活動に使える機器等の提供

町民のみなさんには

参加への橋渡しをします

- ① 活動登録団体の状況を知る
- ② 参加できそうな団体に出会う
- ③ イベントを選んで参加する
- ④ 問合せ・相談をする

団体の役員さんへ

サポセンに「団体登録」しませんか

現在約140団体が登録しています

(但し、特定の政治・宗教、営利の団体活動は除きます)



一隅を照らす “まちの宝”

※ 一隅とは、片すみの意味。たとえ微力でも、無力ではない。必ず救われる人がいます。

サポセンに**団体登録**している**NPO法人**（8件）を紹介します。



ともに生きる・尊厳を守る・不安をなくすなどの公益の実現をめざして法人化している関係者の思いと活動が、わたしたちの町をより住みやすくしています。

	NPO法人（認定年）	主 な 活 動	（園は活動場所 圃は事業所）
1	愛・ふるさと （2005年～）	カワラノギクの保全	国内4河川限定の絶滅危惧種の保護と紹介を行う。あわせて、郷土の山河整備、自然環境教育なども実施。（休止中） 圃中津川河川敷 ☎090-2477-2816
2	あいかわ工房 （2006年～）	通所軽作業所	就労が難しい障がい者に、企業から受注した軽作業を通じて、社会生活の適応や機能回復、社会参加を促す。 圃角田1452-1 ☎046-281-1157
3	NPO愛川SC （2009年～）	少年サッカー	サッカーを主要な活動としつつ、大人を含めたスポーツ・レクリエーションや清掃活動等を行い、青少年の健全育成や環境保全にも貢献する。 圃半原小学校庭他 ☎046-281-4350
4	愛川町精神保健福祉研究会 （2009年～）	通所軽作業所	障がい者が地域で心身ともに健康で充実した生活が送れるよう、作業所の他に、野菜販売やバザー、啓発活動などを行う。 圃角田120-1 ☎046-286-2774
5	地域生活支援の会・あい （2011年～）	共同生活支援	たまり場カフェやグループホームの運営などを通じて、障がい者と家族を支援し、安心かつ社会参加できる地域づくりを進める。 圃春日台1-13-4 ☎046-404-3358
6	防犯パトロールブルーライン （2015年～）（※）	防犯パトロール	『警察や役場と連携し夜間に青色回転灯を装備したノーカーで厚木警察署管内の防犯パトロールを実施しています。共に活動していただける自治会や企業を募集中』 ☎046-247-7884
7	ユーラシアンクラブ・愛川サライ （2017年～）（※）	国際協力	民族の共生・自然との共生をキーワードに、アジアの特に少数民族への理解と親睦、協力を深めることをめざし活動している。 ☎090-3814-5322
8	ライラック心の会 （2021年～）	相談支援事業	精神障がい者を支え不安を減らす活動と、一般の人への啓発を行う。相互扶助をめざし、情報交換・コミュニティの場をつくる。 圃中津3552花儀2階 ☎046-281-8991

（※印は 事務局が町外）

町内で活動するNPO法人は15団体あります。NPO法人でない文化スポーツ団体や福祉団体なども多くあり、それぞれ意義深い活動をされています。（内閣府HP・町社会福祉協議会HP）

【表以外の町内NPO法人】・愛川町宮ノ下農園会・かりん・このわ・ディプロワーク・徳生会・はなえみ・緑と水を創る事業団

“寄付文化”の一翼を担いませんか。顔が見える寄付は心強い後押しです。

新規登録団体の紹介

この1年間にサポセンに登録された団体です。
会員を募集しています。



興味のある団体がありましたら、お気軽にサポセンにお問い合わせください。

●宮ノ下Bamboo Club

宮ノ下（角田地区）の里山再生



ヤブ化した里山に手を入れ、豊かな自然のバランスを取り戻す活動です。
キノコ狩りやタケノコ採りなど里山ならではの楽しみもあります。

●半原ワサビまちづくりプロジェクト

食の名脇役 地域おこしの主役に



「半原ワサビ」はかつて日本中で栽培されていましたが、幻と言われるまで減少。明治以来の味わい深い地場食材を残すための挑戦と、これを利用したまちづくりをしています。

●愛川町将棋愛好会

♪勝った負けたと騒ぐじゃない ♪ってか



仲間と膝つき合わせて喜怒哀楽できるひとは“葉”です。すぐれたコミュニケーション手段であり、認知症予防にもなる将棋を一緒に。

●あいちゃんサービス

高齢者・障がい者のちょっとした困りごとの助けあい・ささえあい



在宅生活を長く続けたい!!の願いを叶えます。通院・買物補助、各種清掃など身の回りの不便を解消します。サービスを受けたい人、行える人、募集しています。

●ラブ・リバー ミーティング

クラシックミニ車でつながる



全国の同好者との交流を通じて、愛川町の良いところをSNSで発信しています。遠方から人が来ることで町内の観光や消費を盛り上げます。

●まちづくりネットワーク愛川（再登録）

里山の荒廃を看過しない



本来の里山環境を取り戻し次世代に引き継ぎます。町内全体の森林・河川・農地の景観、水源の保全再生に関わる市民活動です。他団体との連携、行政との協働を基本に進めています。

サポセン内には、登録団体の活動資料があります。（お声かけいただければ ご案内します。）ホームページ（4頁参照）でも公開しています。ぜひご覧ください。